

第5回エマージングサイエンスデザイン R³センター運営委員会議事要旨

開催日時：令和5年1月10日（火）15：30～16：15

開催方法：Webex によるオンライン会議

出席者：藤原委員長（工）、出口（基）、谷口（産）、吉田（産）、竹田（R³）、伊藤（R³）、中澤（理）、新見（理）、中川（薬）、森川（工）、光岡（電頭）、宮坂（基）、酒井（基）、田中（産）、節原（接）、斗内（レ）、藤岡（R³）

オブザーバー：田中（統括理事）

連絡事項

委員長から、前回（11月8日）開催の第4回運営委員会の議事要旨（案）については、各委員に意見照会し、特に意見がなかったことから、資料2のとおり確定した旨の報告があった。

【報告事項】

1. 令和5年度社会人教育説明会(1/20)と受講生募集活動について
委員長及び藤岡委員から、資料3に基づき、令和5年度社会人教育プログラムの募集説明会及び社会人教育の受講生募集活動について概要報告があり、併せて新たな企業に対しての紹介要請があった。
2. 大学院博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース4月入学の応募状況について
委員長から、大学院博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース4月入学の応募状況について報告があった。
3. アセアンキャンパス OUICP-nano の講義実施状況について
委員長から、アセアンキャンパス OUICP-nano の講義実施状況について報告があった。
4. 日越大学への科目提供について
委員長及び伊藤委員から、日越大学への前期科目の実施状況及び今後の展望について報告があった。
5. 2023 国際ナノテクノロジー総合展（nanotech2023, 2/1-3）出展について
委員長から、2月1日～3日にライブとオンラインの併用で出展する「2023 国際ナノテクノロジー総合展」の実施概要について報告があった。
6. R³センター規程及びR³センター運営委員会規程の改正について
委員長から、資料4に基づき、各規程について1月1日付け本部の改組に伴って改正することについて報告があった。
7. 第3回情報交流会（12/20）の共催結果と第4回情報交流会の共催について
委員長から、資料5に基づき、第3回情報交流会の実施状況及び第4回情報交流会の実施内容について報告があった。
8. その他
 - 1) 社会人実習について
委員長から、社会人実習の現状について報告があり、引き続き今年度修了者を出来るだけ確保できるよう工夫していく旨報告があった。
 - 2) OU マスタープラン実現加速事業について
委員長から、OU マスタープラン実現加速事業への応募状況及び審査結果について報告があった。

3) ベトナム科学技術院物質科学研究所とマレーシア科学大学との国際ジョイントラボ活動について
委員長及び伊藤委員から、国際ジョイントラボの活動について報告があった

4) 大阪大学統合報告書について

委員長から、資料6に基づき、大阪大学統合報告書に本センターの活動内容が記載されている旨報告があった。

【審議事項】

1. 教員人事について

委員長から、資料7に基づき、特任教員（常勤・非常勤）の採用及び招へい教員の受入について説明があり、審議の結果、承認された。また、4月より伊藤委員の勤務時間が減少することに伴い、宮坂委員の特任教授（非常勤）採用及び副センター長への就任の案が提示され承認された。さらに兼任教員については3月の委員会で報告する旨報告があった。

2. 博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（令和5年度秋入学）について

委員長から、博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（秋入学）については、理学・工学・基礎工学の各研究科の募集要項が決定しだい、令和4年度版に準じて公表予定である旨の説明があり、審議の結果、承認された。

3. 令和5年度年度計画の作成について

委員長から、令和5年度年度計画については、本部から作成依頼があり次第、センター長・副センター長等を中心に内容を検討のうえ、次回以降の本委員会で報告したい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

4. 令和5年度委員会開催予定日について

委員長から、資料8に基づき、令和5年度における運営委員会の開催予定日について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、開催方法については、引き続き Webex によるオンライン会議による開催を原則とし、年2回交流を深めることを目的として対面による開催とすることを確認した。

5. その他

1) 2月の委員会について

委員長から、2月の委員会については基本的に休会とし、今回審議できなかった人事案件が出てきた場合は、2月にメールによる持回り審議を行いたい旨の説明があった。

2) 社会人教育開講式及び修了式について

伊藤委員から、4月7日（金）18時から実施の社会人教育の開講式及び修了式については中之島センターを使って実施する旨の報告があり、先生方への出席要請があった。

3) その他

田中理事から、R³センターの活動については文科省及び経産省からの注目が大きいいため、大学としてもこれから数年財政状況は厳しいが、出来る限りの支援はしていきたい旨の発言があった。

※次回開催日程について

次回は、令和5年3月14日（火）15：30から、Webex によるオンライン会議にて開催予定